

## 太平洋同盟関連会合：大臣ビデオメッセージ

ご列席の皆様、こんにちは。日本国外務大臣の林芳正です。

今回の首脳会合を主催される、議長国メキシコのロペス・オブラドール大統領のリーダーシップに敬意を表します。また、エブラル外務大臣やブエンロストロ経済大臣を始めとするメキシコ政府及び太平洋同盟諸国関係者のご尽力に感謝申し上げます。

太平洋同盟は、自由、民主主義、法の支配等の基本的価値を共有する日本の重要なパートナーです。「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」の実現に向けた取組を推進する日本として、幅広い分野で連携を深めて参りたいと考えています。

日本は、その発足直後からオブザーバー国となり、太平洋同盟諸国と共に歩んできています。2019年には、「日・太平洋同盟間の共同宣言及び行動計画」に署名し、包摂的で持続的な成長に向けた協力を展開してきました。

特に成果を挙げているのが社会の強靱化のための協力です。日本は、メキシコ、ペルー、コロンビア、チリの4か国と同様に、地震や津波と行った自然災害のリスクに晒されています。日本は、「仙台防災枠組」に基づき、幾多の災害の経験により蓄積された防災・減災に関する知見を活かし、各国の特性やニーズに沿った協力を実施しています。

例えば、メキシコでは、地震発生メカニズムの把握のため、初めて海底に圧力計や地震計を設置し、データの取得や解析を行い、災害削減のための協力を行ってきました。コロンビアでは地震・火山の監視システムの強化、チリでは三角協力による域内の防災人材育成、ペルーでは津波対策のための早期警報システムの導入支援を行うなどの協力を行ってきました。

また、今後、「防災とICTの利活用」をテーマに、太平洋同盟4か国の未来を担う若手行政官を日本に招へい予定です。これは、日本の知見の共有に加え、防災に係る地域の共通の課題について議論し、新たなアイデアを生み出し、互いに見識を深めることを目的とするものです。

こうした社会の強靱化に向けた協力に加え、日本は、太平洋同盟諸国と共に成長するパートナーとして、相互の利益になる形で、DXやGX等の官民双方が関心を有する分野においても協力を拡大・深化させていきます。

例えば、コロンビアでは日本企業とも連携し、AIブレインを活用したスマート農業の導入を支援してきました。DXを活用して、食料安全保障や保健体制の強化といった共通の課題に取り組んでいきます。

国際秩序がかつてないほどの挑戦を受け、国際社会が大きな困難に直面する現在、太平洋同盟との協力は、日本にとって一層重要性を増しています。日本は、今後も太平洋同盟との共通の課題に共に取り組み、具体的な協力を進めていきます。

Muchas gracias (ムチャス グラシアス) .

(了)